

## 2019 年度（一社）千葉県代協第 2 回理事会議事録

日時 2019 年 10 月 11 日（金） 13：00～16：00  
場所 長沼原勤労市民プラザ 2F 多目的ホール

＜出席理事＞（敬称略）19 名、

小口泰伸、伊藤綱人、東正己、積田淳、今西英人、筒井隆行、大下整二、中臺勝美、須佐弘男、福原鋭司、萱野一、本吉淳、石井孝幸、安藤康子、五木田厚、田原豊矢部元茂、石井清、久保田洋之、市原貴

＜欠席理事＞（敬称略）12 名

辰野方哉、佐藤隆二、四方裕伸、宅間稔、伊野雅至、秋元浩、石橋陽二郎、鈴木政敏、池辺晃司、清水武史、北田耕一、石井清

＜出席監事＞

栗田秀美、小倉滋彦

＜オブザーバー＞

仁平 光男（茨城代協副会長）

司 会：今西専務理事

議 長：小口会長

議事録作成人：宮澤事務局長 議事録署名人：栗田監事、小口会長

（配布資料）

1. 各委員会議事録（前回理事会以降）
2. 2019 年度第 2 回支部長・三役会議議事録
3. 2019 年度第 1 回理事会議事録
4. 人材育成研修会の開催について
5. 国民年金基金の紹介業務について（紹介料の分配割合）
6. 三冠王の取組み策について
7. 台風 15 号による被害状況調査について

＜議事＞

### **定足数の確認**

今西専務理事が出席理事数の確認を行い、本理事会が有効に成立していることを報告した。

## 1. 会長挨拶

（挨拶概要）

台風 15 号の後遺症、台風 19 号の接近する中、ご出席いただき感謝する。台風 15 号では、栃木代協から 5 万円の見舞金をいただいた。これに千葉代協から 10 万円を拠出して、5 万円ずつを被害の大きかった安房・市原・木更津の 3 支部に見舞金として渡した。また、東関東ブロック協議会の席上、被害地区の家屋修理業者が不足している実情を話したところ、埼玉代協清水会長から業者を紹介してもらったので、安房支部につないだ。

## 2. 報告事項

### (1) 日本代協報告

①中臺ブロック長から9月13日開催の全国ブロック長懇談会に関し、次の報告があった。

- ・関東財務局のモニタリングについて
- ・大阪代協による地震対策の1つとして、感震ブレーカーによる電気火災対策を行う方法の紹介
- ・BCPセミナーについて など

②筒井機関紙編集室委員から次の報告があった。

9月19日に機関紙編集室が開催され、日本代協ニュース第316号の編集を行った。次回は10月25日の予定である。

### (2) 委員会報告

積田教育委員長、筒井広報委員長、伊藤CSR委員長、東組織委員長、大下企画環境委員長、今西総務委員長から、前回理事会後に開催された委員会を中心に次の報告があった。

委員会名	主な報告項目
教育委員会	10月2日開催の委員会報告 ・2020年4月開講コンサルティングコース受講勧奨について ・日本代協アカデミーの有料登録の推奨について ・東関東ブロックセミナーの運営及運営への協力要請
企画環境委員会	10月2日開催の委員会報告 ・不公正契約の報告（茂原支部からディーラーの車両入れ替えについて） ・人材育成セミナーの運営について ・大規模災害のBCP対策についての検討
広報委員会	委員会延期により10月16日に開催し、千葉代協だよりの編集を中心に検討する予定。
CSR委員会	9月19日開催の委員会報告 ・ぼうさい探検隊マップコンクールの応募に向けての検討 ・サイバーセキュリティ対策セミナーの推進について ・地震保険普及キャンペーンの担当支部の変更（市原・木更津・安房→京葉・千葉・銚子） ・赤い羽根共同募金への協力要請
組織委員会	台風15号の影響で委員会延期により委員会が開催できていない。今後会員増強及びオリエンテーションについての立て直しを図っていく。
総務委員会	10月10日開催の委員会報告 ・理事会・委員会の管理交通費→今年度から年2回払いとする ・年度末の各支部活動費の残高証明については、銀行に440円の費用を払って銀行口座残高証明を取り付ける。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会費口振り（セディナ）の引落しの年2回から年1回への変更について→ 引落とし手数料コスト及び事務局ロードの軽減を勘案し、2020年度から年1回の引落としとする。</li> <li>・今後事務局職員の就業規則を検討する。</li> <li>・2020年度千葉代協主催レクリエーションについて→ 成田空港見学、オリンピック開催地の見学、断層見学などを候補地として今後検討する。</li> </ul>
--	---

### (3) 支部報告

各支部長から、台風15号の被害状況、支部活動の実施状況や今後の予定について披露があった。

### (4) 事務局報告

事務局より、次の報告があった。

#### ①日本代協コンベンションへの参加

今年度は11月1日、2日に開催されるが、千葉代協からは13名が参加する。

#### ②第2回支部長・三役会会議報告について

9月12日に開催された第2回支部長・三役会会議について、配布された議事録に沿って、報告があった。

### 3. 前回議事録（2019年度千葉代協第1回理事会）承認の件

2019年7月12日の開催された2019年度第1回理事会議事録について、異議なく承認された。

## 4. 協議事項

### (1) 人材育成研修会の実施に向けて

大下実行委員長から、セミナーに向けての進捗状況の説明及び要請があった。

#### ①人材育成セミナーのスケジュール

別添のチラシ及びスケジュール表のとおりである。なお、先日日本代協の小見常務を訪問し、2日目の第4講義「組織活性化とリーダーシップ論」のグループ討議の進め方などについて、打ち合わせを行った。

#### ②研修会の参加者について

各支部から1名ずつ役員候補者となる人材を10月18日までに、提出して欲しい。

#### ③ブロックセミナーについて

積田実行副委員長から、次の説明があり、承認された。

##### イ. ブロックセミナーの概要

日時：11月21日（木）16時～18時      場所：クロス・ウエーブ幕張

テーマ：「戦わずして勝つ！」終わらない代理店経営戦略のつくり方

講師：安東 邦彦氏（株）ブレインマークス

（注）詳細は、別添チラシを参照してください。

## ロ. ブロックセミナーの参加者について

9月18日の東関東ブロック協議会でブロックセミナーの参加者については、各代協の割当を次とすることが決定した。

代協名	参加者	備考
栃木・茨城・埼玉	各代協 30名	参加者には、ブロック協議会参加者及び人材育成参加者を含む。
千葉	60名	
計	150名	

## ハ. 参加者への案内について

- ・ 埼玉・茨城・栃木の3代協へは、メールで案内状を発信済み。
- ・ 千葉代協会員には、メール及びチラシを送付するので、参加者の動員に是非ともご協力いただきたい。

## (2) 全国国民年金基金の紹介（取次）業務に伴う紹介料の分配割合について

題記に関し次のとおり提案し、異議なく承認された。

(経緯)

2019年7月12日開催の千葉代協理事会で「千葉代協が全国国民年金基金の紹介業務を行う」ことが承認されたのを受けて、千葉代協は、2019年8月に全国国民年金基金千葉支部と紹介業務を行う正式な契約を締結した。

(提案内容)

紹介者（会員）が紹介した加入希望者が全国国民年金基金の募集担当者により成約した場合には、1件あたり20,000円+消費税が紹介料として代協事務局に振り込まれる。この場合代協事務局と紹介者（会員）の分配割合を10%（事務局）：90%（紹介者）とする。

(紹介業務の実施日)

来週に全会員あてにメールを流した日以降

## (3) 三冠王への取り組み状況及び取り組み策について

### ① 取り組み状況

会員増強、コンサルティングコース受講者数、ぼうさい探検隊マップコンクール応募団体数についての実績を次のとおり確認した。

項目	目標	実績
会員増強(入会店数)	28店	6店(10/7 現在)
コンサルティングコース受講者数	24名	12月から募集開始
ぼうさい探検隊マップコンクール応募提出団体数	15団体（日本代協は3団体以上）	1（9/30 現在）

### ② 今後の取り組み策

#### イ. コンサルティングコース受講者数

積田委員長から、「今日事務局に12月募集開始のチラシが届くので、教育委員

を通して各支部に送る。目標数は昨年と同じ24名なので、皆様のご協力を得て目標をクリアりたい。」との宣言があった。

#### ロ. ぼうさい探検隊マップコンクール応募団体数

伊藤 CSR 委員長から、「現在の提出数は1団体であるが、応募団体の残り6団体の提出を促し、最低でも3団体の提出をクリアりたい。」との宣言があった。

#### ハ. 会員増強

東委員長から現状(実績)及び今後の取り組み策についての次の説明があった。  
(実績)

支部名	増強数		支部名	増強数	
	目標数	実績		目標数	実績
木更津	3店	1	北総	3店	0
千葉	6店	1	京葉	3店	1
市原	3店	1	茂原	5店	0
安房	3店	0	東葛	4店	1
銚子	3店	1	計	33店	6店

#### (今後の取り組み策)

11月から組織委員会の立て直しを図っていき、2月の会員増強キャンペーンをゴールとして、会員増強をすすめていくので、ご協力をお願いしたい。2月の頭に「代理店賠償説明会」を考えている。

なお、理事の皆さんにも、一人一人が会員を入会させるとの意識をもって望んで欲しい。

#### (各支部からの目標達成に向けての見込み)

各支部長などから目標達成に向けて次の説明があった。

銚子→三井住友社代申の代理店など3店にアプローチしているので、2店ぐらいいは何とかなると思う。

市原→あいおい損保社代申の代理店を中心にアプローチしていきたい。

京葉→レクリエーションの実施にあわせて、非会員にも参加を呼び掛けるなど、紹介方式で目標を達成したい。

北総→現段階では見込みなし。今後保険会社とタイアップして非会員を紹介してもらおう。

木更津→10月中旬に1店入会の確約が取れている。

千葉→入会见込みが1店ある。あとは、11月ごろ代理店賠償説明会を実施して、会員増強をすすめていきたい。

東葛→4月にAIGの業務連絡会で、代理店賠償説明会を行ったが、成果が上がらなかった。今後は、非会員が見つければ、どんどん声を掛けて入会に結びつけたい。

茂原→いまのところ見込みはないが、今後努力していく。

#### (4) 台風15号結果を踏まえた対応について

##### ① 財務省関東財務局による千葉県被災対応（代理店ヒアリング）の実施について

会長から、題記に関し、次の説明があった。

関東財務局から「金融庁に保険会社の保険支払いに関する対応が良くないとのクレームが入っている。代理店に対し、どういう対応をとっているのか聞きたいので、紹介して欲しい」との要請が日本代協経由であった。被害の多いところを中心に3店（・(有)アークス 辰野安房支部長 ・(有)東海千葉保険 栗田監事 ・(有)N & Bホールディングス 今西専務）を紹介した。

次に、関東財務局のヒアリングの内容について、今西専務及び栗田監事から次の報告があった。

(報告概要)

○今西専務（関東財務局2人、金融庁1名が来訪）

風災の支払いが遅いとの趣旨について、「大災害時には、金融機関から企業に対して融資を行うが、保険金の支払いが遅いので融資が出来ないとのクレームが経産省を通して金融庁にあった」との説明があった。

これに対し、次の説明を行った。

地震保険と火災保険の保険金支払い方法の違いにつき「地震保険は保険金の支払い基準が%であり、大災害時には保険会社などの社員を総動員して、保険金を出来るだけ早く支払う。しかし、火災保険の風災については、客先から業者の見積書及び写真などを提出してもらって、保険金を支払う。

現時点では、私のところに来ている風災の被害件数の10~20%しか見積もりが出てきていない。家屋修理業者が不足しているので、見積もりが出せない状況である。保険会社は、見積書がでてくれば、迅速に対応している。

さらに、我々専門代理店は、銀行、ディーラーなどと違って保険金支払いについても、保険会社をサポートしている旨の説明を行った。

○栗田監事（関東財務局2人、金融庁1名が来訪）

ヒアリングの趣旨については、保険金支払いなどについての現状を聞きたいとのことであったので、次の説明を行った。

風災の被害件数は1,000件ぐらいあるが、現時点で業者から見積もりがでてきているのは、10%ぐらいである。

また、現状で困っていることはないかとの質問に対しては、「保険会社の保険金支払体制について、大災害時の保険金の支払体制が準備不足であり、実態にそくした支払い体制にすべき」など保険会社の改善すべき点につき意見を述べた。

[2人の金融庁、関東財務局のヒアリングに関する感想]

我々の話を真摯かつ真剣に聞いてもらった。日本代協との良好な関係がうかがわれた。

## ②台風15号による被害状況調査について

日本代協からの調査依頼があったので、全会員に郵送で調査をお願いした。今後調査結果について日本代協と情報共有をして対応していくことが、確認された。

## ③提携業者への対応など

千葉ロードネット会の委託業者を増やして欲しいとの声があったが、普段はほとんど使わないで、こういう異常事態の時のみ増やして欲しいとの要望はむつかしいとの説明があった。

## ④大規模災害のBCP対策について

今後BCP対策については、企画環境委員会を中心に検討していくが、BCP対策の一環として、今西専務より次の提案があった。

(提案内容)

今回の台風15号による停電の経験を踏まえて、防災非常用蓄電池（ソーラーパネル付）（特価約12万円）について、非常時の会員貸出用として、千葉代協事務局に2～3台を備えたらどうか。

(集約内容)

種々検討の結果、最低1台は備える方向で、三役会に一任することとした。

(監事講評)

小倉監事から、次の講評があった。

「こんな状況にも拘わらず、出席率61%は、千葉代協の理事の参加意識の高さを示しているのではないか。

会員増強の目標達成については、組織委員会だけでなく、他の委員会、各支部が協力して活性化していく必要がある。」

以上

(次回理事会) 2020年1月24日(金) 午後1時～ 於長沼原勤労市民プラザ